令和元年度本庄市社会福祉協議会　事業報告書

全国社会福祉協議会では「あらゆる生活課題への対応」と「地域のつながりの再構築」の２つの柱を掲げ、市町村社会福祉協議会も、これらの柱実現のため「行政とのパートナーシップ」を意識し「アウトリーチの徹底」「相談・支援体制の強化」「地域づくりのための活動基盤整備」に努めることが求められています。

本会では各種相談窓口を運営し、平成３１年４月より本庄市から生活困窮者自立相談支援事業を受託するなど、市内社会福祉法人をはじめ、地域福祉団体、自治会等の地縁団体、行政機関、その他関係機関等と連携し、相談・支援体制を強化しながら、さまざまな支援を行いました。また、国内では多くの大規模災害が発生し、本庄市でも相次ぐ台風の襲来に見舞われました。特に台風１９号では、多数の市民のみなさまが一時的に避難する事態となり、本会では、床上浸水に見舞われた世帯に赤十字救援物資を提供したほか、災害ボランティアのみなさまとともに支援活動を展開しました。そして、年度末には、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、地域住民は外出自粛をはじめ、さまざまな行動が制約されるなど、本会も事業運営に多大な影響を受けることとなりました。

令和元年度、市と一体的に策定に取り組んでまいりました「ふくしの杜ほんじょうプラン２１～安心と共生のまちづくり（第２期本庄市地域福祉計画・第２期本庄市地域福祉活動計画）」がスタートしました。住民が地域で安心して、生きがいをもって暮らしていくための各種施策を継続的に展開していくため、行政とのさらなるパートナーシップ強化に努め、これからも市民、関係機関、団体等のみなさまと連携・協働して「地域共生社会」の実現を目指します。

主な事業

■財政基盤と組織体制の強化

（１）会員加入の促進と会費収入の強化

・『社協会員募集運動』を実施し、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人等にご協力いただき次の実績を得ることができました。

○件　数　　６，７７０ 件

○金　額　５，５７４，０２２ 円

＜内　訳＞

・普通(個人等)　　５，１４６件（１，４５４，３００円）

・特別(個人等)　　１，３３１件（２，８１１，３２２円）

・法人(会社等)　　２９３件（１，３０８，４００円）

（２）寄附金募集による自主財源の確保

○寄附金　８４件（２，２３７，２０８円）

（３）自動販売機設置事業

○手数料収入　４１，７８７円（２台）

（４）広報活動の実施

・活動報告や制度の周知等を図るため、広報紙の発行などを行いました。

○「社協だよりハート&ハート」の発行（年４回・市内全戸配布）

○ホームページの充実及びフェイスブックページでの情報提供

○ふくしＰＲコーナーの設置【新規】

市内病院、飲食店、スーパー等１５か所にＰＲコーナーを設置、情報紙・福祉イベントチラシ等の掲示にご協力いただきました。

（５）ふくしの杜ほんじょうプラン２１の推進【新規】

・地域福祉講演会の開催（本庄市と共催）

○参加者数　約１５０人

・ふくしの杜ほんじょうプラン２１概要版（一般市民向け・児童生徒向け）作成

■高齢者福祉事業

（１）配食サービス事業

・日常的に見守りを必要とする７０歳以上の単身世帯及び７５歳以上の日中独居高齢者世帯を対象に、民生委員・児童委員やボランティアの協力により『配食サービス』を行いました。

○利用世帯数　３２３世帯（配食数　２，７３０食）

（２）高齢者世帯等安否確認事業

・日常的に見守りを必要とする７０歳以上の高齢者世帯（単身・二人世帯含む）及び７５歳以上の日中独居高齢者世帯を対象に民生委員・児童委員が毎月お便りや生活物品等を配布し、安否確認と孤立防止に取り組みました。

○利用世帯数　１，０２８世帯

（３）本庄警察署・児玉警察署との見守りネットワーク

○対象者　７件

（４）友愛通信事業（絵手紙による友愛訪問活動）

・日常的に見守りを必要とする７０歳以上の単身世帯を対象に、年２回（暑中見舞いと誕生日）にボランティアが絵手紙を送り、郵便による友愛訪問を行いました。

○対象世帯　７４３世帯

（５）活動者導入促進事業（地域見守り活動の推進）

・自治会連合会と協働し、地域の見守り役として「活動者」の配置を促進しました。

○配置自治会数　４８自治会（活動者数　８３６人）

（６）ふれあいいきいきサロン支援事業

・自治会等身近な地域を拠点に、高齢者等がボランティアや地域の人たちと一緒に楽しく過ごす「住民主体」の交流活動を支援しました。

○サロン数　５７か所

○参加者数　１，６５０人（うち世話人　３４９人）

（７）地域会食事業（お楽しみ食事会等）

・自治会や民生委員・児童委員、ボランティア団体等と連携し、閉じこもり防止や地域のふれあいづくりなどを目的に、地域会食事業に取り組みました。

○実施地域　　延べ３か所　（参加者数　１２１人）

（８）介護者リフレッシュ事業

・在宅で高齢者を介護している人（介護者）を対象に、日頃の介護疲れを癒していただくための日帰り旅行や食事会等を開催しました。

○参加者数　延べ２６人（２回開催）

（９）在宅福祉有償家事援助サービス事業

・在宅の高齢者世帯や障害者世帯等を対象に、掃除や買い物等の家事全般、外出介助等の支援を有償で提供する、住民参加型の家事援助サービスを推進しました。

〇利用者数　６１人（延べ利用者数　３８５人）

〇協力員数　３３人（延べ活動協力員数　３０３人）

〇訪問回数　１，４１０回（延べ活動時間　１，７０７時間）

■障害児（者）福祉事業

（１）福祉車両・車いす貸出事業

・障害のある人等を対象に、福祉車両（２台）や車いすを貸し出すことにより、外出の支援を行い、社会生活の利便性向上と生活圏域の拡大を図りました。

〇福祉車両貸出件数　１３６件（２車種計）

〇車いす貸出件数　　１１３件

（２）児玉郡市手話通訳者派遣事業

・聴覚障害者とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者を派遣し、意思疎通の円滑化に努め、聴覚障害者の福祉の増進と社会参加の促進を図りました。

〇派遣件数　１，１４８件

〇来所相談　　３８１件

（３）福祉サロン支援事業

・障害のある人やひきこもりがちな若者等、同じ悩みや不安を抱えた者同士が、ボランティア等と協働して行う「生きがいづくり」「仲間づくり」のための交流活動を支援しました。

〇サロン数　７か所

〇参加者数　１５２人（うち世話人　３９人）

（４）共学支援プログラム事業（すべての子どもが共に地域で学ぶための支援プログラム）

・近隣５市町社協、特別支援学校２校と連携し、支援ボランティア養成講座やフォローアップ講座を開催して人材の発掘や育成に取り組みました。また、交流活動を通じて障害のある児童、生徒とボランティアの相互理解を深め、障害に対する地域住民の理解促進に努めました。

〇ボランティアバンク登録者数　４５人

（５）障がい者作品展の開催（３日間）

・障害者週間にあわせて本庄市役所１階市民ホールにて、心身に障害のある人たちの創作品の展示や、来場者による「みんなの木」の制作を行いました。

〇参加団体２４団体（来場者　２２９人）

■児童・母子福祉事業

（１）ファミリー・サポート・センター事業

・子育ての手助けを必要とする人と、子育ての援助ができる人を結び、一時的な育児援助活動を有料で行う会員組織活動を推進しました。

また、「お笑いライブinほんじょう」を開催しセンターの周知を行ったほか、援助会員講習会、会員交流会を開催しました。

○会員数　１７９人　（依頼 １１８人、援助 ５３人、両方 ８人）
○援助件数 ２，１１４件
○ふぁみさぽ通信　創刊号発行（全戸配布）

■ボランティア活動事業

（１）ボランティア養成講座等の開催

・手話奉仕員養成講座（基礎課程）、おとなボランティアスクール、高校生ボランティアイベント、ボランティア活動のためのカウンセリング講座（基本・ステップアップ）等を開催しました。

○講座数　５講座（延べ６１人受講）

（２）夏のボランティア体験プログラムの開催

・学生の夏休み期間に、中学生から社会人までを対象に、保育施設、高齢者施設、障害者施設等でボランティア体験をするプログラム事業を開催し、福祉体験活動に取り組みました。

○メニュー数　８メニュー（延べ１５８人参加）

（３）福祉教育推進事業（「総合的な学習の時間」の支援活動等）

・小中学校における福祉教育の推進や学校と地域との協働による福祉体験の機会創出等を目的に、「総合的な学習の時間」の支援活動や、支援に携わる福祉ボランティアの育成等に努めました。

○「総合的な学習の時間」支援　延べ２３回（１１小中学校）
○参加ボランティア数　延べ１２３人

（４）ボランティア啓発促進事業

・ボランティア情報紙の発行やイベントの開催等を通じて、子どもから大人まで、ボランティア意識の醸成に努めました。

○ふくしフェスタ来場者数　７９人

（５）災害支援ボランティア関連事業（災害時支援体制の強化）

・市内被災世帯に対し、災害ボランティアによる支援活動に取り組みました。また、他市町災害ボランティアセンターに職員を派遣し、災害時支援体制の強化に努めました。

○台風１９号による市内被災世帯への支援活動【１０月２８日】
○台風１５号・君津市災害ボランティアセンター１名派遣【１０月２日～６日】
○台風１９号・小川町災害ボランティアセンター１名派遣【１０月２５日・２７日】

・災害ボランティアの登録を行い、災害支援に関する研修会や被災地支援に関する情報提供等を行いました。

○登録災害支援ボランティア数　３０人・６団体
○減災セミナー来場者数　　１０４人

■相談事業

（１）心配ごと相談の運営

・市民の心配ごとについて相談に応じ、問題解決を容易にするため各種社会資源を活用しながら生活相談を中心に住民福祉の向上に努めました。

○利用者数　４０人
○相談件数　６２件

（２）結婚相談の運営

１．結婚相談

・健全な結婚思想の普及、配偶者の紹介とそれに伴う相談等を行い、多くの出会いの場の提供に努めました。

○結婚相談開設日の来所者数　男性１１８人、女性４７人

○結婚相談登録者数　　男性１７５人、女性５２人

○お見合い実施回数　１９回

○婚活セミナーの実施

○内部成婚件数　３組

２．ＳＡＩＴAMA出会いサポートセンター

・結婚を誠実に希望する独身男女に出会いの機会を提供する結婚支援センター（ＳＡＩＴAMA出会いサポートセンター本庄）を開設し、入会受付や相談に応じました。
また、婚活パーティー等のイベントも開催し、結婚に対する機運醸成を図りました。

○登録者数（仮会員含む）３，５０９人（うち本庄センター登録者　３３５人）

○お見合い実施回数　３，６３１件（うち本庄センター登録者　７３４件）

○交際件数　１，３４６件（うち本庄センター登録者　２２６件）

○内部成婚件数　４１件（うち本庄センター登録者　４件）

○婚活パーティーの実施（４回）参加者数１５１人　カップル成立数　２７組

○女性限定恋たま説明会の実施　参加人数２８人

○活動サポート相談会の実施　参加人数９人

○男性限定婚活応援セミナーの実施　参加人数２７人

（３）介護の悩み相談の運営

・介護に関する総合的な相談に各種社会資源を活用しながら対応し、情報提供等を図りました。

○相談件数　１３件

（４）成年後見相談の運営

・相談員７人、相談員アドバイザー２人による成年後見相談を行いました。

○相談件数　５件

■生活福祉事業・権利擁護事業

（１）生活福祉資金等貸付事業

・福祉資金の貸付を行いました。

○件　数　３２件

○貸付額　２，７７４，０００ 円

〈内　訳〉

＊市社協貸付金〈件数２０件/貸付額　５８１，０００円

＊県社協貸付金

・緊急小口資金（件数９件/貸付額　８６６，０００円）

・福祉費（件数３件/貸付額　１，３２７，０００円）

（２）生活困窮者自立支援制度・自立相談支援事業

・自立相談支援窓口の開設（平成３１年４月１日より）
生活に不安を抱える方や経済的に困窮している方(生活保護受給者を除く)からの相談を受付し、関係機関と連携しながら必要な支援を行いました。

○新規相談受付件数　３１９件

（3）彩の国あんしんセーフティネット事業
・生活困窮者に対する相談支援事業として、公共料金の支払いや食糧支援を行いました。
○件　数　１７件
（4）フードバンク
・まだ食べられるにもかかわらずさまざまな理由で廃棄されてしまう食品を、企業や個人などから寄附いただき、生活に困窮している世帯の支援に活用しました。
○件　数　３２４件
（5）福祉サービス利用援助事業
・利用者との契約及び生活支援員による援助を行いました。
○利用者数　１２人　（ 生活支援員数　６人 ）
○専門員・生活支援員による訪問回数　延べ２２３回
（6）法人成年後見事業
・現在３件受任（後見類型２件、保佐類型１件）しています。また、判断能力が不十分な方々を支援できる人材を育成するために、市民後見人養成講座（基礎研修・フォローアップ研修）を開催しました。
○市民後見人養成講座（１０日間の開催）参加者３人
○フォローアップ研修（４日間の開催）参加者　１９人

■介護保険事業・障害者総合支援事業
（1）ヘルパーステーション事業
・介護保険の訪問介護事業を行うため、ヘルパーステーションを組織し事業を実施しました。
○利用者延べ人数　４４６人
○訪問時間数　５，８３５時間
○ヘルパーステーション利用者数　３９人
（2）ケアプランセンター事業
・居宅介護支援事業を行うため、ケアプランセンターを組織し事業を実施しました。
○利用者延べ人数　１，３４０人
○ケアプランセンター利用者数　１１８人
（3）障害福祉サービス事業
・障害者総合支援法の居宅介護・同行援護事業を行うためヘルパーステーションを組織し、事業を実施しました。
○利用者延べ人数　２５７人
○訪問時間数　２，１１６時間
○障害福祉サービス利用者数　２１人

■地域包括支援センター業務
（1）包括的支援業務
総合相談
・高齢者に関する様々な相談に応じ、必要な制度やサービスの紹介や調整などを行いました。
○相談件数　　延べ５７１件　　訪問状況　　延べ２３１件
権利擁護
・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の紹介や情報提供等、高齢者虐待や消費者被

害の相談に応じ、必要な対応を行いました。
○対応件数　　延べ５件

認知症総合支援事業

・認知症カフェや個別相談会、認知症家族の会を実施し、認知症高齢者や家族等の支援を行い、地域における認知症の理解を進め、関係者同士の連携を図りました。
○オレンジカフェ　　１１回開催、延べ１１４人
○認知症個別相談会　　１２回開催
○認知症家族の会　　１０回開催
○認知症サポーター養成講座　　８回開催

生活支援体制整備事業

・生活支援・介護予防サービスの開発や発掘のための取り組みとして、第２層（本庄西地域）生活支援体制整備協議体の活動を行いました。
○協議体会議　８回開催
○まごころさぽーとサポーター活動報告会　　４回開催
○西愛ネットワーク「地域の支え合い・助け合い講演会」　１回開催
○地域づくりフォーラム開催への協力

（２）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

・地域包括支援ネットワークの構築のため、介護・医療・保健福祉サービスやインフォーマルサービスなど様々な社会資源との連携を図りました。
○地域ケア個別会議　　１１回開催、２０事例
○令和元年度地域ケア課題整理会議　　２回開催
○地域密着型運営推進会議への出席　　６施設、延べ２３回
○本庄地域ケアマネ会議　　２回開催
○本庄西地域ケアサポート連絡会　　２回開催
○社会資源マップづくりに関する意見交換会開催への協力

（３）介護予防事業

・高齢者が健康意識を醸成し地域で安心して生活ができるよう介護予防事業に協力しました。
○介護予防出前講座協力　　６件
○介護者教室　　２回開催

（４）介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

・指定介護予防支援事業者として、要支援１・２・事業対象者の方を対象に、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントを実施しました。
○介護予防支援　　延べ５５４件
○介護予防ケアマネジメント　　延べ７００件

■生活支援サービス業務

（１）生活支援体制整備事業

・「みんなで支えあい　笑顔あふれる　本庄市」をスローガンに掲げ、市全域の地域支え合い推進員（第１層市全域生活支援コーディネーター）が、住民主体の地域づくりを応援するための支援に取り組みました。
○第１層協議体会議４回開催・第２層協議体会議参加
○地域ケア会議出席（市内４圏域）
○生活支援サポーター養成講座　参加者２１人（修了１５人）
○はにぽん号・もといずみ号予約のための「スマートフォンの使い方」講座
（２回開催）
○地域づくりフォーラム開催　参加者２８３人
○コンビニエンスストアによる移動販売、社会福祉法人による移動支援

○多職種連携の会で事業説明

■その他の事業

（１）赤十字会員募集活動【募集期間：５月～９月】

・『日本赤十字社会員募集運動』を実施し、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人等にご協力いただき次の実績を得ることができました。

○一般会員　実績額　４，６１６，７００ 円
　　目標額　４，７６６，４００ 円
○特別会員　実績額　　２８３，０００ 円

（２）被災世帯への物資（布団・毛布・日用品）の提供

・火災等被災世帯に救援物資の提供　９件
・火災等被災世帯に見舞金・弔慰金の提供　９件（８０，０００円）

＜台風１９号関連＞

・避難所支援（緊急対応）毛布１０５枚・布団１組提供
・床上浸水世帯支援（１０件）毛布１６枚・救急セット１０組提供

（３）日本赤十字幼児安全法短期講習会の開催

・２３人参加